Paris

エコシステムの特徴・トレンド

・スタートアップ支援策フレンチテックと豊富な理系人材を背景に**AI、ディープテック**に強み。充実した研究開発税制により近年グローバル企業によるR&D投資も盛ん。とりわけ世界がフランスのAIに注目。近年外資系IT企業（米国GAFA等)によるR&D拠点など大型投資が相次ぐ。

・フランス政府は2013年11月より**スタートアップ支援策「フレンチテック」**を実施。ユニコーン企業の成長促進重視など、現在政府はより**レイトステージ、ディープテックSUへの支援に重き**をおき、新たなステージへ移行。

・オープンイノベーションの12万人規模の祭典**VIVATECHNOLOGY**や、2017年パリにオープンした世界最大のスタートアップキャンパス**「ステーションF」**（民間イニシアティブ）がエコシステムの急成長と起業促進を後押し。

・イル・ド・フランス（パリを含む首都圏）のみならず**地方にもエコシステムが存在**。

提携先

Paris&CO

パリ市経済・イノベーション開発局傘下の欧州最大級のアクセラレーター。スマートモビリティ、フィンテック、スポーツテック、ヘルステック、情報技術、観光など14の産業・テーマ別のインキュベーションプログラムと施設を運営し、民間企業との連携によりパリ首都圏のエコシステムを推進、海外スタートアップの起業支援などを展開。個別企業の要望に応じたセクター別のメンタリング、ビジネスマッチング、コワーキングスペースの提供が可能。

SyVision

SyVision（サイビジョン）社は、フランスと海外市場（欧州、日本、ASEAN、北アフリカなど）間の販売促進及びパートナーリングを専門とし、1997年に設立されたコンサルティングファーム。異文化マネージメントのトレーニング及びチェンジマネージメントのミッションを継続的に実施。顧客はCAC40のグループほぼ全社。

個別企業の要望に応じたフランス市場開拓のためのメンタリング、フランス市場調査（潜在顧客、潜在パートナーのマッピング）やビジネスマッチングを提供。

コワーキングスペースの無料提供（3ヶ月）

- 拠点設立準備とネットワーキング機会を提供するためコワーキングスペースを３ヶ月無料で提供。

お申込み https://www.jetro.go.jp/form5/pub/iib/paris2021

Copyright©2021 JETRO, All rights reserved.

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

ジェトロ・グローバルアクセラレーションハブ設置都市

Jetro Global Acceleration Hub In Europe

日系スタートアップの現地事業展開および、日系企業の現地スタートアップとの協業・連携活動を個別にお手伝いします。

www.jetro.go.jp/services/jhub/

ヘルシンキ
環境問題の解決やQOL向上に対する官民の高い関心と推進力がローカルのみならずグローバルでも競争力を持つスタートアップを創出。SLUSHの開催地。

ベルリン
ドイツ最大のエコシステム。成長領域はフィンテック、AI・データ、IoT、クリーンテック、ヘルス・バイオテックなど。外国人による起業が7割を占め、英語でビジネスが可能。

ロンドン
欧州最大のエコシステム。2020年の投資額は106億ドル（都市別で世界4位）。投資先のTop3はフィンテック、ヘルステック、エンタープライズ向けサービス。

デュッセルドルフ
独最大の経済州の州都。エネルギー、機械・自動車、IT分野の大手・中堅・スタートアップが集積。Fraunhofer IPT、アーヘン工科大学では5G、IoT研究が盛ん。

パリ
スタートアップ支援策フレンチテックと豊富な理系人材を背景にAI/ディープテックに強み。充実した研究開発税制により近年グローバル企業によるR&D投資も盛ん。

ミュンヘン
BtoBのスタートアップが集積。BMW、シーメンスなどの自動車・機械関連分野の協業・潜在顧客が存在、ミュンヘン工科大学等からのスピンオフも多い。

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

その他注目のスタートアップエコシステム

アムステルダム
欧州各市場へのアクセスが良く、英語話者が多い。Uber、Netflix、Tesla等米企業が、欧州事業拠点として同地を選択。フィンテック、スマートシティに強み。

ストックホルム
北欧トップのVC投資額を誇る。医学分野で著名なカロリンスカ研究所、5Gインフラをリードする通信大手のエリクソン等が立地。都市別ユニコーン数は欧州2位。

ダブリン
英語圏、若い労働力、低廉な法人税を背景に、GAFAも開発拠点を構える。アイルランドの人口一人当たりのスタートアップ投資額は英国をしのぐ。

タリン（エストニア）
エストニアのスタートアップ数は人口10万人あたり85社と欧州で最も多い。法人設立から運営まで全てオンラインで可能な上、法人税が配当のみにかかる制度が特徴。

バルセロナ
南欧最大、投資件数で欧州5位のエコシステム。スマートシティやバイオ技術に強み。手頃な人件費と質の高い生活環境も魅力。携帯見本市「MWC」の開催地。

ビリニュス（リトアニア）
近年海外からの直接投資が増える新興のエコシステム。欧州のフィンテックのハブの座を狙い、中央銀行もフィンテックの成長を後押しする政策をとっている。

リスボン
ウェブサミット誘致を追い風に近年急速に発展。ダイムラー、グーグル、富士通など外資デジタル開発拠点設置も相次ぐ。欧州の中でもコストメリット、人材等に定評。

コペンハーゲン
近年、フィンテック、フードテック、デジタルヘルス等でスタートアップが成長。欧州のバイオテッククラスターとして名高いメディコンバレーも広がる。

チューリッヒ
連邦工科大学（ETH、EPFL)から輩出される人材と技術力が強み。スイス全体では伝統的に強い金融、医薬品産業に加え、近年はICTやフードテックも台頭。

ミラノ
ミラノのあるロンバルディア州を中心に、近年企業数・投資額ともに拡大中。企業向けサービス（R&DやITサービスなど）が多い。

Copyright © 2021 JETRO. All Rights Reserved.